

糖尿病重点病院を目指します
チーム医療に取り組む美濃病院



▲糖尿病治療チームのスタッフ

足と院内の連携不足で、市民の皆さんに、十分なサービスを提供できないこともあります。専門的な特徴が欲しいという意見もあります。新病院を開院した現在も、皆さまのための病院になれるよう努力中です。

糖尿病が多い土地柄？

関保健所管内（美濃市・現関市）の地域は健康診断受診者の5～6%の人が、糖尿病を強く疑われる“要医療”と診断されているような土地柄です。ましてや健康診断を受診していない人々の中には、万病のもとと言われる糖尿病と糖尿病予備軍がどれだけ隠れているのでしょうか？ そうと知つていな

糖尿病が多い土地柄？

関保健所管内（美濃市・現閻市）の地域は健康診断受診者の5～6%の人が、糖尿病を強く疑われる“要医療”と診断されていながらも、土地柄です。ましてや健康診断を受診していない人々の中には、万病のもとと言われる糖尿病と糖尿病予備軍がどれだけ隠れているのでしょうか？ そうと知つていな

皆さまのための美濃病院

2月1日付けで三浦淳医師に着任いたしました。先生のプロフィールは、次ページのとおりで、糖尿病を専門とする優秀な医師です。これを契機に美濃病院はより専門性の高い地域医療機関を目指します。(以下、三浦医師のお話)

から手をこまねいている訳にはいきません。

糖尿病性腎症が進んで人工透析に通わなければならなくなったり、眼の合併症が進んで失明したり、心筋梗塞や脳梗塞で生活が不自由になつてからでは、治療が一層困難となります。増え続ける医療費を抑えるためにも、病気が重症化して医療費が高くつく前に、糖尿病を抑え込まねばなりません。

健康には糖尿病を抑えること、
美濃市はそれに気づき、新病院の
移築とともに糖尿病や生活習慣病
を専門とする岐阜大学糖尿病内分
泌内科に声をかけていただきまし
た。



日本は今、低成長の時代です。これから時代には、維持経費ばかりがかかるなんでも売っている大きなデパートではなくて、キラ

りと光る高級ブライツク的な専門病院をつくりあげることが必要なのです。

美濃病院を特徴づけるため、「糖尿病内科」という看板をつくり、

洗練されたスタッフが患者様をお待ちする」そんな高級店をつくりたいと考えています。高級ブライツクだからこそ味わえる喜び（治療効果）を感じていただけることだと思います。

「何でも屋の病院でしながら専門性のある病院へ」これが美濃病院に課せられた仕事です。そつ

すれば限りあるマンパワーで最大限のサービスをひきだすことができると考えます。

チーム医療で高いサービスを

チーム医療という言葉をご存知でしょうか。医師だけでなく看護師や栄養士、薬剤師等が連携して治療にあたることをいいます。まさに糖尿病治療がチーム医療そのものなのです。糖尿病は血糖が高いだけの病気ではなく、いろいろな臓器障害や高血圧症、高脂質血症などを伴った症候群であり、

症状もそれに伴う悩みもひとつです。

当院糖尿病スタッフは、糖尿病

療養指導士を中心にして多人数で治療にあたります。それぞれのスタッフが専門知識を活かし、異なる角度から毎回患者様のチェックをします。そして、多人数多角度からの情報にもとづいて最終的に医師が判断をくだします。

さらに生まれ変わる 美濃病院にご期待ください

新しい美濃病院は、旧来の経験に頼った医療から、「データと証拠、専門知識を根拠とした医療機関に変わります。糖尿病外来は完全予約制とし、余分な待ち時間のカットを実践します。さらに、当院で施行できない検査や治療は関連病院（大学病院等）と連携して行います。紹介も迅速に手際よくいくよう連携していきます。また、全科協力体制を整え見落としのない医療サービスを目指します。

十分な体制ができあがるまでは、多少まごつくこともあると思いますが、精一杯がんばって、さらに新しい美濃病院に生まれ変わりたいと思っています。

三浦医師に期待します

岐阜大学内分泌代謝病態学 武田 純 教授



糖尿病は心筋梗塞、脳卒中、失明、腎不全などの重要な原因です。岐阜県でも生活の質を大きく低下させる糖尿病は深刻な社会問題となりました。大学病院は病気の早期診断と治療のた

めに地域医療との連携を深めています。糖尿病では特に生活管理が大事なので、病気を専門に扱う病院が身近にあることが望されます。このたび、大学から糖尿病を専門とする三浦先生が美濃病院に着任されました。先生は、看護師や栄養士を含めたチーム医療を通じて生活に直結した糖尿病診療を実践されます。さらには、大学とのパイプラインを活用して高度医療を展開され、同時にホームドクターとの連携拠点ともなり、地域の健康福祉を大きく増進されるものと期待しています。

三浦 淳 医師プロフィール

- ・米国南フロリダ大学医学部内分泌代謝科留学
- ・岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センター
- ・岐阜大学医学部附属病院糖尿病内分泌内科講師（医学博士、日本内科学会認定内科医、日本消化器内視鏡学会認定医）



4月からの糖尿病内科外来の受付は、月・水・木の午前中です。午後の診療については現在検討中です。
※詳しくは、美濃病院へお問い合わせください。（☎33-1221）